

上原秀信 （幼名） 劇作家、小説家、評論家。明治二十年一月〜二十九年
 形原正礼、昭和二十六年五月十四日没（八七―一九五二）。早稻田大學中
 退。『都新聞』文藝部記者、同部長、編輯局長等長歴任。戰時中大政翼
 賛會文化部副部長。

著書、戯曲集『村道』（昭和十年一月）二十日竹村書房）、『ふるさと』

『紀行』（昭和十二年十月）二十日竹村書房）、『愛の建設者』（昭

和十四年四月十五日羽田書店）、『國民娛樂脚本集―素人の出来る芝

居の本』（合著、第一輯、昭和十五年一月）二十一日國民精神總動員聯

盟編輯、第二輯、十月）二十一日國民精神總動員本部編輯、隨筆『の

山河』（昭和十五年二月）二十五日羽田書店）、『今昔』（昭和十五

年八月八日協力出版社）、『公共劇小脚本』（合著、圓池公功編、昭

和十五年十一月）二十日モダン日本社）、『地方と文化』（昭和十七年

一月）二十五日高山書院）、『文化の様相』（昭和十七年二月）二十五日

大日本出版株式會社）、『戰時國民文化講習會講義要領』（權田保

延吉之助合著、昭和十七年二月）二十日社會教育局、文部省）、『軍人後援

文藝作品集・第一輯』（合著、昭和十七年八月二十日軍事保護院編）、

『短篇劇名作選』（合著、日本移動

演劇聯盟編、昭和十七年十一月十五

日協栄出版社）、『日本文化の構想

と現實』（合著、

二枝博首編、昭和

十八年一月）二十五



日中央公論社『大東亞基礎問題研



究」)、園池公功
上原秀信監修、
伊藤嘉邦「人形劇運動」(合著、昭和十八年四月二十

五日中川書房)、伊藤嘉邦「種馬く人」高川彌一郎の生涯」(昭和十八年七月

二十一日日本文林社)、伊藤嘉邦「國民生活の課題」(合著、大河内一男編、

昭和十八年八月二十一日日本評論社)、伊藤嘉邦「舊友」(昭和十九年一月)一

十日筆齋出版協會)、伊藤嘉邦「山道」(昭和十九年五月十五日筆齋出版協會

「農民建設文學叢書」)、伊藤嘉邦「止し」勤勞藝能」(合著、昭和十九年九

月序、大政翼賛會文化勸員部「勤勞藝能指導資料」)、伊藤嘉邦「山道」(昭

和二十一年五月十日大阪・三島書房)、伊藤嘉邦「紀行」(改作篇)」

(昭和二十一年八月十五日大阪・日本出版社「日本文庫」日本文學選

集)」等。